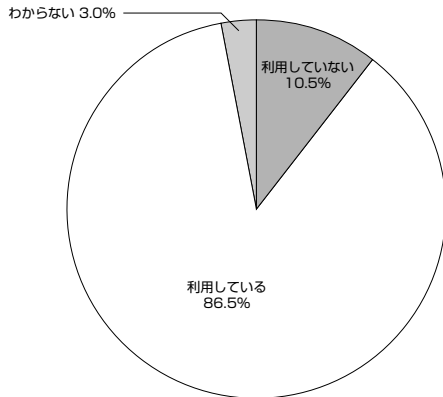


第3章 携帯電話/PHS利用者

メール①

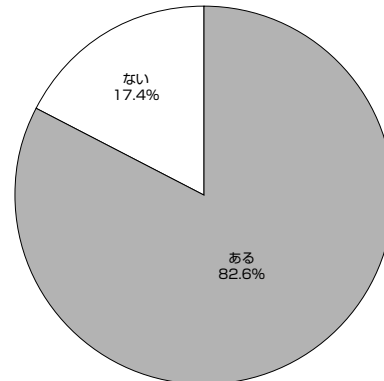
メールの利用率は86.5%

資料1-3-9 メールサービスの利用有無 N=133



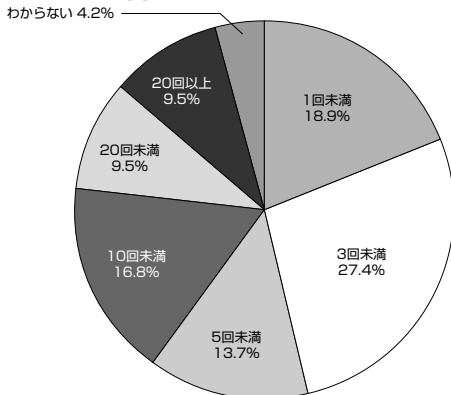
インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-3-10 @アットマーク付きメールアドレスとの送受信有無 N=115



インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-3-11 @アットマーク付きメールアドレスとの1週間当たりの交換頻度 N=95



インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

解説

選択理由からもうかがえるが、携帯電話/PHSによる電子メール利用は急速に浸透しつつある。しかし、その利用実態はよくわかっていないため、今回サンプル数は少ないがメール利用の実態を明らかにすることを試みた。

携帯電話/PHSのインターネット利用において、メールは多くの利用者で利用の中心になっており、「利用していない」は約1割にすぎなかった（資料1-3-9）。性別では男性が女性よりやや多く、年代別では30代以上で相対的に利用率が高いという結果である。

アットマーク付きのメールアドレスとの送受信有無（資料1-3-10）とは、いわゆるインターネットメールアドレス（@:アットマークとはユーザー名とドメイン名の間の区切りマーク）のことで、携帯電話/PHS専用メールサービスと区別するため、また携帯電話/PHSでのインターネット利用者に馴染みが薄かった場合を想定

し、このような質問の設定になっている。しかし結果的に、一般的なインターネットメールアドレスとの送受信の経験はメールサービスを利用している回答者の82.6%と非常に高かった。性別で見ると、ここでも男性の利用率がやや高い。

インターネットメールアドレスとの1週間当たりのメール交換頻度は「3回未満」（27.4%）が最も多く、「5回未満」の合計が約6割であった（資料1-3-11）。インターネット個人利用者では、送信メール数が「週に6通以下」は全体の約6割、受信メール数が「週に6通以下」は44.6%であったが、メール交換頻度そのものはほとんど差がない。1週間当たりのメール交換頻度10回以上の合計も全体の2割近くに上っている。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp